【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第３区分
【発行日】令和4年2月10日(2022.2.10)

【国際公開番号】WO2018/146426
【公表番号】特表2020-506275(P2020-506275A)
【公表日】令和2年2月27日(2020.2.27)
【出願番号】特願2019-542514(P2019-542514)
【国際特許分類】
Ｃ０８Ｊ　9/32(2006.01)
Ｂ２９Ｃ 45/00(2006.01)
Ｂ２９Ｃ 44/00(2006.01)
【ＦＩ】
Ｃ０８Ｊ　9/32　　ＣＥＺ
Ｂ２９Ｃ 45/00
Ｂ２９Ｃ 44/00　　Ｄ
Ｂ２９Ｃ 44/00　　Ｅ

【誤訳訂正書】
【提出日】令和4年2月2日(2022.2.2)
【誤訳訂正１】
【訂正対象書類名】特許請求の範囲
【訂正対象項目名】全文
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
ガスを封入した独立気泡を有するポリマーマトリックスの形をした非架橋性の発泡体組成物であって、上記マトリックスが発泡体組成物の総重量に対して、
９０～９９．５重量％の少なくとも１種のブロックコポリマーと、
０．５～１０重量％の炭酸水素金属塩と、
を含むハードブロックとソフトブロックとを有するコポリマーから成ることを特徴とし、上記少なくとも一種のコポリマーがポリアミドブロックとポリエーテルブロックとを有するコポリマーを含む非架橋性発泡体組成物。
【請求項２】
上記ガスがCO_2、H_2O、N_2およびこれらの混合物から選択される少なくとも一つの化合物を含む請求項１に記載の組成物。
【請求項３】
コポリマーのハードブロックが２００～２０００ｇ／モルの数平均モル質量を有し、
コポリマーのソフトブロックが８００～２５００ｇ／モルの数平均モル質量を有し：
コポリマーのソフトブロックに対するハードブロックの重量比が０．１～２である請求項１または２に記載の組成物。
【請求項４】
コポリマーのポリアミドブロックが下記ポリアミド単位：１１、１２、６、６．１０、６．１２、１０．１０、１０．１２およびこれらの混合物の少なくとも一つを含むブロックである請求項１～３のいずれか一項に記載の発泡体組成物。
【請求項５】
コポリマーのポリエーテルブロックがポリエチレングリコールまたはポリテトラメチレングリコールのブロックである請求項１～４のいずれか一項に記載の発泡体組成物。
【請求項６】

エチレンと酢酸ビニルとのコポリマー、エチレンとアクリレートとのコポリマー、エチレンとアルキル（メタ）アクリレートとのコポリマーから選択される０．１～５０重量％の１種または複数の添加剤、および／または、０．１～１０重量％の核形成剤から選択される添加剤をさらに含む請求項１～５のいずれか一項に記載の発泡体組成物。
【請求項７】
請求項１～６のいずれか一項に記載の組成物の発泡体からからなる物品。
【請求項８】
請求項１～６のいずれか一項に記載の組成物の発泡体からなる少なくとも１つの要素を有する物品。
【請求項９】
スポーツシューズのソール、バルーン、ボール、手袋、個人用プロテクター、レールのソール、自動車部品、ベビーカー部品、ホイール、ハンドル、シート部材、子供用カーシート部品、建設部品、電気および／または電子機器部品、オーディオ機器部品、遮音材および／または断熱材、衝撃および／または振動を減衰させるための部品およびこれらの組み合わせを含む任意の物品の中から選択される請求項７または８に記載の物品。
【請求項１０】
下記（ａ）と（ｂ）とを含む発泡性ブロック共重合体組成物：
（ａ）９０～９９．５重量％の請求項１～５のいずれか一項に定義のブロック共重合体、
（ｂ）０．５～１０重量％の炭酸水素金属塩と下記（１）～（４）の中から選択される少なくとも一つの成分とを含む発泡剤：
（１）２～１０個の炭素原子と少なくとも２つのカルボキシル基を有するポリカルボン酸、
（２）上記ポリカルボン酸の金属塩、
（３）カルボキシル基の少なくとも一つが１～６個の炭素原子を有するアルコールでエステル化された上記ポリカルボン酸のエステル、
（４）上記の混合物
（上記重量パーセントは発泡性組成物の総重量に対する比率）
【請求項１１】
発泡剤が炭酸水素アルカリ金属塩とクエン酸またはその塩と含む請求項１０に記載の発泡性ブロック共重合体組成物。
【請求項１２】
９０～２５０℃の範囲の温度の作用で膨張するガスを封入した熱可塑性カプセルをブロック共重合体組成物の総重量に対して０．５～２０重量％さらに含み、このカプセルの発泡前の平均寸法Ｄ５０は８～２０μｍで、発泡体中での発泡後の平均寸法Ｄ５０は３０～１３０μｍの範囲にある請求項１０または１１に記載の発泡性ブロック共重合体組成物。
【請求項１３】
ブロック共重合体組成物の総重量に対して０．１～１０重量％の少なくとも１種の物理的発泡剤をさらに含む請求項１０～１２のいずれか一項に記載の発泡性ブロック共重合体組成物。
【請求項１４】
ブロック共重合体組成物の総重量に対して１０～５０重量％のゼオライトおよび／またはアルカリ土類金属酸化物を含む乾燥剤をさらに含む請求項１０～１３のいずれか一項に記載の発泡性ブロック共重合体組成物。
【請求項１５】
以下の（１）と（２）の段階を含む、請求項１～６のいずれか一項に記載の発泡体の製造方法：
（１）請求項１０～１４のいずれか一項に記載の発泡性組成物を用意し、
（２）ポリマーが溶融し、発泡剤が分解してCO_2、H_2Oおよび／またはN_2を生じ、溶融ポリマー中にガスの形で分散するような温度に上記組成物を加熱する。
【請求項１６】

上記発泡性組成物を金型中に射出し、加熱した後の上記組成物の発泡を金型中への注入時、および／または、型開き時に行う請求項１５に記載の方法。
【請求項１７】
上記発泡性組成物を押出し、押出機の出口で発泡剤の分解によって上記発泡性組成物を直接発泡させる請求項１５に記載の方法。
【請求項１８】
上記発泡性組成物を反応器中で加熱し（バッチ）、圧力および／または温度スイングにおいて熱力学的不安定状態を作り出すことが可能であり、これにより組成物が発泡する請求項１５に記載の方法。
【請求項１９】
加熱工程中に、溶融した共重合体に化学発泡剤および必要に応じて１種または複数の添加剤をさらに混合する請求項１５～１８のいずれか一項に記載の方法。
【請求項２０】
上記発泡性組成物に少なくとも１種の物理的発泡剤をさらに添加する請求項１５～１９のいずれか一項に記載の方法。
【請求項２１】
ガス注入装置を使用しない請求項１５～１９のいずれか一項に記載の方法。